

取組30

若者の就職支援

○ 現状

1 中学校や高校卒業者のほとんどが進学や就職をしている一方で、進路が明確に定まらないまま卒業する生徒もいます。

① 平成20年3月公立中学校卒業者の進路状況（学校基本調査）によると、進学も就職もしない者は198人、卒業生数（19,222人）に占める割合は1.0%となっています。

② 平成20年3月公立高校卒業者の進路状況（県教育委員会高校教育課調べ）によると、進学（進学努力継続者を含む）も就職もしない者は469人、卒業生数（13,947人）に占める割合は3.4%となっています。

2 各学校では、生徒の希望がかなえられるよう、進路指導を担当する教員を中心にきめ細かいキャリア教育を実施し、進学や就職支援に努めていますが、在学中に就職内定が得られない就職希望者に対しては、県および群馬労働局が連携して、就職面接会を開催するなど、卒業後に進学も就職もしない状態やアルバイト等の不安定な雇用状況にならないよう支援しています。



就職面接会の様子

3 県内の事業所に就職した者の3年以内の離職率は、中学校卒が53.8%、高校卒が45.4%、大学卒が33.6%となっており（平成17年3月卒業生、群馬労働局調べ）、一般に言われる7・5・3現象にやや好転の傾向が見られるものの、依然として改善すべき状況にあります。

4 学校卒業後に進学も就職もしない状態やアルバイト等の不安定な雇用状況にある若者に対しては、県内3か所の若者就職支援センター（通称ジョブカフェ）で、カウンセリングから職業紹介・定着までの一貫したきめ細かい支援を行っています。



ジョブカフェの様子

○ 課題

- ・キャリア教育を通して職業意識を醸成し、短期離職の防止や学校卒業後に進学も就職もしない状況が生じないようにすること
- ・進学も就職もしなかったり、アルバイト等不安定な雇用状況にある若者に対しては、正規雇用に向けた就職支援をすること

○ 取組の方向

- ・小中学校の段階からの職場見学や職場体験、高校段階でのセミナーやインターンシップ等への参加を通して、職業意識の醸成を行います（取組15参照）。
- ・就職希望者に対しては、本人の意向を踏まえた就職が可能となるよう支援します。
また、就職内定が得られない高校生等に対しては、県および群馬労働局が連携して、就職面接会の開催などを継続して行います。
- ・無職でいる者やアルバイト等不安定な雇用状況にある者に対しては、職業の紹介や正規雇用に向けた支援を行います。

○ 主な事業の概要

事業の概要	担当部署
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生等県内就職促進 新規学校卒業者や既卒者の県内就職を促進するため、群馬労働局および雇用関係機関との連携により、各種就職面接会を開催します。 	労働政策課
<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者就職支援 職に就いていない若者の就職とアルバイト等不安定な雇用形態の若者の正規雇用化を図るため、県内3か所の若者就職支援センター（通称ジョブカフェ）において、カウンセリングから職業紹介・定着まで一貫したきめ細かい支援を行います。 	労働政策課
<ul style="list-style-type: none"> ・ Uターン就職の支援 ぐんま総合情報センターから県内企業情報や求人情報を発信するとともに、Uターン等希望者に対する相談業務を実施します。 	労働政策課
<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢実現・進路プラン 生徒一人ひとりの勤労観、職業観を育て、将来の生き方を考える態度や主体的に適切な進路選択を行う態度を養うため、組織的・系統的なキャリア教育を推進します。 	高校教育課

○ 達成目標

目標の概要	基準年度の状況 (H20)	目標年度の状況 (H25)
・ 公立高校新規学卒者の就職率	(H20新卒者) 96.5%	(H25新卒者) 100%
・ ジョブカフェにおける就職決定者数	(H19) 1,029人	増加
・ ジョブカフェにおける就職決定者数のうち正規雇用率	(H19) 69.7%	70%